

道の駅白川郷と合掌ミュージアム

道の駅白川郷は、幹線道路沿いの休憩所で、軽い食事をしたり、手工芸品、スナック、お菓子、その他の特産品などを売る土産物店を見て回ったりできる場所です。施設内には、合掌ミュージアムもあり、伝統的な合掌造り民家の歴史や構造がよくわかる教育的な展示がされています。中でも一番注目すべき展示は実寸の2分の1サイズの合掌造り農家で、中に入って細部を近くで見ることができます。屋根の一部は茅で葺かれ、残りの部分は構造がむき出しになっており、見学者は屋根の断面を見て、荒縄とマンサクの若枝で作った結束材（ネソ）でしっかり組んだ屋根の構造体に茅がどのように固定されているかを理解することができます。茅葺職人の仕事や、彼らの様々な役割（監督する、乾燥させた茅を屋根まで運ぶ、実際の茅葺作業、縄で茅の束を屋根の枠に綴じつける等）を見せるためマネキンが使われています。展示民家の土台の側には、白川郷で昔から合掌造り民家の礎石を打ち込む時に使われていた人力のくい打ち機が置かれています。展示品の周囲には説明パネルもあります。